

2.MSPを明確にする方法

MSPをどうやって言語化する方法。

もう、これは語彙力、数を出すしかない。

必ずしも、
ぴったり言語化したものではない。

活動の中で見せている。

MSPはリーダーが体現している必要がある。

体現している様子からMSPを感じる必要がある。

嘘がバレるってのは、
集客できそうだからって言ってるとか。

自分を大前提にして、ウケそうなことを選ぶ。

本と同じ。

こういう若者が多い、こういう本が受けるとか。

自分が描く必要があるのか？ってなってくる。
自分である必要がない。

amazonの不用品販売。

この本はこういうところが読みどころ。
状態とかは書いていない。

そうすると、固定客がつく。

ストーリーを伝えたい。

自分がない人が頑張っても自分が出ない。

お金が稼げると、自分を問い出す。

インドに行ったって、自分はない。

選択をする。
常に自分の意思で、理由を持って選択をすることで自分ができる。

みんな、なんとなくで生きている。

MSPは体現する。
逆に言えば、体現するってのは生き方。

生き方を決めるのはマインドセット。

どういうマインドセットを持って、
どういう選択をしている方が生き方を作る。

そうやって、自分を作る。

一回は孤独になれ、そういう時期が必要。
クリエイティビティは、孤独の時に育まれる。

初心者の中に、
色々言われたらブレちゃう。

自分のスタイルを確立するときは、外野の声は邪魔。

最初のお手本は、
レシピを見ながら、自分で選んで、自分で作る。

先生を選んで、作ってもいい。

色んな奴に囲まれて、孤独になる時間がない中で、自分を作るのは不可能。

守っている時は、借り物の軸がある。
それにすがっていく中で、発見がある。

どうしても共感できないとか、素晴らしいとか。

それをさらに続けると、離れて、孤独になる。

いいところ取りできる人は、自分ができている人。
自分がないとできない。

これは、後天的な学習で出来る。

これからの生き様で決まる。